

3年福祉保育コース「介護過程」（選択科目）多職種の外部講師から学ぶ

令和4年9月22日（木）5時間目

## アートセラピストによる講座

社会福祉法人北養会 特別養護老人ホーム・救護もくせい アートセラピスト 生江 教代 様  
（茨城県社会福祉協議会より紹介 ふくし“きらり人”）

アートセラピストは「生きがいに繋がる心のリハビリ」を目標とし、利用者様の心と体の状態を理解し、集団で作品作りをする際は、苦手な方もいることから、個々の能力に合ったプログラムを立案することを学びました。また、多職種連携では、利用者様の「楽しく、豊かな人生」を支えるために、1つの目標を共有し、多職種の記録を見ながらコミュニケーションをとる大切さを学びました。さらに、仕事のやりがいについて「目には見えない心や感情、言葉では表現しにくいことをアートで可視化できることが、役に立っていると実感できること」や「自分の好きなものづくりを通して、利用者様に喜ばれ、表情が明るくなるなどの関わる人が変化していくことが嬉しくなることで、さらに自分も挑戦しようという好循環が生まれること」とのお話が印象的でした。生江様から「自分の得意なことがどこで必要とされるのか」考え、提案するなど行動することの大切さを学ぶことができ、将来、医療・福祉の分野で活躍する生徒が、専門的知識、技術だけではなく、自分の「強み」や「楽しみ」を仕事に活かしていくことを学ぶ大変貴重な機会になりました。ご指導、ありがとうございました。

